

シップヘルスケアグループ 医療従事者様サポートマーク

医療従事者の皆様に寄り添う意志を表す[プラス]のかたち、
医療従事者の皆様への感謝の意志を表す[ハート]のかたち、
医療従事者の皆様を支える強い意志を表す[!]のかたち。

それらを組み合わせたオリジナルマークは、
いかなる時でも医療従事者の皆様をサポートするという、
シップヘルスケアグループの思いを表象し、
医療従事者の皆様への感謝を視覚的に伝えるためのマークです。

第 31 期 株主通信 [2022年4月 1日▶ 2023年3月31日]

生命を守る人の環境づくり

 **SHIP HEALTHCARE**

シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード：3360



代表取締役会長

古川 國久



代表取締役社長

大橋 太

地域社会への新たな“バリュー”の創出

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、新たに策定した中期経営計画『SHIP VISION 2024』の実践にあたり、当期（2023年3月期）はその初年として、『進化』と『成長』の歩みを更に前進させております。

連結業績について

19期連続の増収に加え、事業の高付加価値化により増収増益を達成

全社的にエネルギー価格や原材料価格高騰の影響を受けた一方、トータルパックプロデュース事業のプロジェクト案件が順調に推移したこと等により、概ね計画通りに推移しました。売上高は前期比11.3%増の5,722億円、営業利益は同3.1%増の211億円となりました。売上高は株式上市以来19期連続の増収を重ねております。コンサルティング力とプロデュース力を駆使した高付加価値化の取組みの着実な進展により利益率の向上が図られ、営業利益は増収基調を回復することができました。

業績結果

(単位: 百万円)	2022/3 (前期)	2023/3 (当期)	増減率
売上高	514,353	572,285	+ 11.3%
営業利益	20,505	21,144	+ 3.1%
経常利益	21,287	20,607	△ 3.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,172	12,063	△ 0.9%

中期経営計画の進捗について

4つの重要施策の着実な推進

中期経営計画の達成に向け、施策時に掲げた重要施策を着実に遂行しております。

トータルパックプロデュース事業では、病院の新築・建替等のプロジェクトが順調に推移したことに加え、メーカー系では新たな製品を上市するなど、継続的な成長への取り組みを進めました。更に、大阪重粒子線センターでは重粒子線治療の保険適用対象部位の拡大等により新規外来受診者数や治療件数が増加し、2018年3月の開院以来初めて、単年度営業利益黒字化を達成しました。また、メディカルサプライ事業では、当社グループが提供するSPD（院内物流管理システム）への新規受託が順調に拡大するなど、重要施策「コア事業の更なる高成長」の取り組みが加速しております。

人々のより良く生きる(Well-being)に貢献する新たな“バリュー”の創出が着実に進む

2つめの重要施策である「積極的なバリューの拡大」では、戦略的M&Aを含め新たな事業による価値の創出に取り組んでおります。当期は、医療・介護施設向けカーテンリース・販

グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2023年 スローガン

1ヒット5打点をいつも懐に!

に向け、『進化』と『成長』はとまらない

売 等を展開するキングラングループ12社が新たに当社グループに参画し、当社グループにとって“新たな事業”が加わりました。両社の既存取引先に対する相互提案など、これまで以上に高付加価値のサービスを提供し、既存事業とキングラングループの連携によるシナジーの実績が着実に積み上がっております。また、当社グループのバリューを更に拡大するため、これまでに培った様々なノウハウを広く社会に還元し、人々が「より良く生きる(Well-being)」社会に貢献することに挑戦しています。公園整備事業や学校包括管理事業(▶P5参照)は、そうした広い視野から生まれてきた新たな“バリュー”です。

当社グループは、グループ全体の多様なノウハウを活かした「コンサルティング力」と「プロデュース力」を起点に高品質かつ幅広い価値を提供し、より良い社会へ貢献してまいります。

長期目標「連結売上高1兆円」は、遙か先の“夢”から、射程圏内に入った“具体的な目標”へと現実味を帯びてまいりました。まずは、そのマイルストーンとして計画最終年度(2025年3月期)の目標「連結売上高6,300億円」の達成に向け、引き続きグループの総力を結集して臨んでまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画「SHIP VISION 2024」計画のフレームと目標数値

拡大するヘルスケアニーズに応えながら、高付加価値型の事業運営を推進



SHIP VISION 2024
(2025年3月期計画)

売上高 **6,300**億円
営業利益 **260**億円



【大阪重粒子線センター事業】

重粒子線治療の保険収載範囲が拡大し、新規外来受診者数及び治療件数が増加

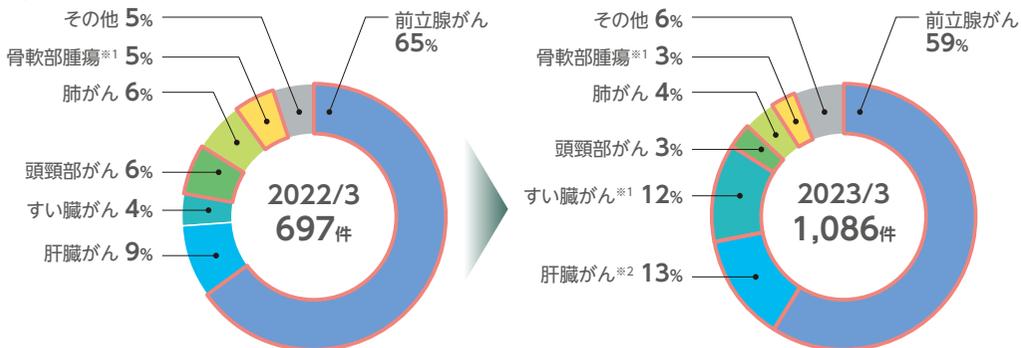


加速器(シンクロトロン)

がん細胞にピンポイントで重粒子線を照射し、身体への負担が少なく治療できる最先端のがん治療「重粒子線治療」では、2022年4月から保険適用対象部位が拡大しました。これにより、新規外来受診者数及び治療件数が増加し、当期は営業利益黒字化を達成いたしました。

また、大阪大学重粒子線治療学寄附講座と協力し、人材育成や研究開発に積極的に支援するとともに、今後も、一人でも多くの患者様の生命を救うべく安定的な運営を続けてまいります。

疾患別構成比



保険適用

注) 以下の場合に限り保険適用
 ※1: 手術による根治的な治療方法が困難であるもの
 ※2: 長径4cm以上のもの

治療に関するお問い合わせ

公益財団法人 大阪国際がん治療財団
 〒540-0008 大阪市中央区大手前3-1-10
 TEL 06-6947-3210



【バングラデシュ事業】

一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 「MEJ Award 2023」受賞

当社のバングラデシュ事業に対し、「SHIP INTERNATIONAL HOSPITAL」の設立をはじめ、他企業と連携し、日本医療の国際展開を積極的に推進した実績が評価され、一般社団法人Medical Excellence JAPANよりアウトバウンド事業「MEJ Award 2023」を受賞いたしました。



Medical Excellence JAPAN (MEJ)

日本の成長戦略の柱の一つ、健康・医療の国際展開の推進という政府の方針のもとに、これを実践する中核的な組織として、設立された一般社団法人。

SHIP INTERNATIONAL HOSPITAL



- 2022年6月18日 グランドオープン
200床から運用開始
現地需要の高い血管性疾患(心臓血管・脳血管)・周産期・急性外傷の4科目を中心に先行投資を実施
- 2023年2月~
2名の日本人心臓外科医師が現地着任
- 2023年3月~
心臓血管外科の診療がスタート

メーカー系トピックス
【新製品の積極展開】



介護浴槽 リフト&バス「リクシー」

リハビリテーション機器・介護浴槽を製造する当社グループ会社の酒井医療は、「限られたスペースの中で、入浴の喜びを一層味わってほしい。」そんな思いから、リフト&バス「リクシー」を上市いたしました。また、2023年度には、第2弾「リクシーシンプル」を上市予定です。

当社グループのメーカー系企業は、ニーズを捉えた積極的な製品開発で今後も業界をリードしてまいります。

Li xy 上質で豊かな時間。
Lift & Bath コンパクト浴槽のその先へ。



POINT 1 広々とした浴槽内でゆったり入浴
浴槽自体はコンパクトでも浴槽内は広々。浴槽内は1915×830mmあり、大柄な方でもゆったり入浴できます。

POINT 2 より近くで安全に
ストレッチャーの脚部が浴槽下部に潜り込むので、介助する方は入浴する方の真横まで近づくことが可能です。また、浴槽の縁高は80cm。腰をかがめず楽な姿勢で介助できます。

メーカー系トピックス
【新製品の積極展開】



多機能パネルシステム 「FES-Wall」

医療ガス設備メーカーとして国内トップシェアを誇る当社グループ会社のセントラルユニは、お客様からの治療環境設備に対する様々なご要望にお応えする多機能パネルシステム「FES-Wall」を開発いたしました。本製品は組立式手術室ウォールシステム「FES」のコンセプトを応用して開発された多機能壁で、多様な組み合わせにより、お客様それぞれの運用に合わせた設備配置を可能にしました。 ※「FES」:Functional Environment System

お客様からのご要望

- オープン病床から個室の空間の病床に改修したい
- 患者様の枕元や足元だけでなく、左右の壁面からもエネルギー供給できるようにしたい



POINT 1 オリジナルの設備配置が可能
機能パネルを組み合わせることで、運用に合わせた設備配置が可能です。

POINT 2 追加や配置変更が自由
パネル工法なので運用後でも比較的容易に使用環境に合わせて機能の追加や配置変更が可能です。

サステナビリティレポート 2023発行

「生命を守る人の環境づくり」のミッションのもと、持続可能な社会の実現を目指す当社グループの活動をまとめた「サステナビリティレポート2023」を発行いたしました。当社ホームページに公開しておりますので、ぜひご覧ください。



サステナビリティレポート2023表紙



P6「価値創造図」

サステナビリティレポート
ダウンロードはこちら



公園指定管理業務

吹田市で初となるPark-PFI事業※である江坂公園及び吹田市立江坂図書館、桃山公園の魅力向上事業における指定管理者に選ばれ、指定管理業務を受託しました。江坂公園及び吹田市立江坂図書館では、本年4月8日に開園記念式典及びリニューアルオープニングイベントを開催しました。また、桃山公園では市民の方の憩いの場として、無料の休憩・交流スペースと物販コーナーを備えたパークセンター等を新設しました。※Park-PFI制度:民間事業者による公共還元型の収益施設の公募設置管理制度

江坂公園及び吹田市立江坂図書館



公園と図書館を一体的に開発



開園記念式典の様子

桃山公園



新設されたパークセンター

吹田市立学校・保育施設等包括管理業務

吹田市が保有する小学校、中学校、幼稚園、保育所等合計84施設に関する施設管理業務等を2023年4月に受託しました。本受諾により当社グループがこれまでに培ってきた「コンサルティング力とプロデュース力」が子供たちの教育現場にも拡がることとなりました。



当社グループのノウハウ
(警備・給食・施設管理等)



包括管理業務等
新たなビジネスを展開



Well-being
の実現に貢献

(2023年3月31日現在)

主要経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位:百万円)

	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3(予想)
売上高	444,048	484,395	497,156	514,353	572,285	600,000
営業利益	17,952	18,794	21,800	20,505	21,144	24,000
経常利益	18,532	19,931	21,761	21,287	20,607	23,500
親会社株主に帰属する当期純利益	11,236	11,803	12,280	12,172	12,063	13,500
総資産	299,212	308,873	334,498	335,074	381,977	—
純資産	97,734	104,681	115,103	122,318	131,115	—

※「収益認識に関する会計基準」等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。また、2021年3月期以前の各数値は当該会計基準等を遡及適用しておりません。

セグメント情報 (2022年4月1日~2023年3月31日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件の完成及び新規受注が堅調に推移したことに加え、新たにキングラン株式会社当社グループに参画し、ビジネスのウイングが広がりました。また、重粒子線がん治療施設においては、2022年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより新規外来受診者数及び治療件数が増加し、営業利益黒字化を達成いたしました。一方で、引き続きメーカー系において電装部品調達難や原材料価格の高騰の影響を受けたことに加え、ミャンマーにおける強制兌換等の金融規制等による外貨不足の影響から大型案件の進捗が遅れ、計画を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高は121,868百万円(前連結会計年度比22.4%増)、セグメント利益(営業利益)は9,024百万円(前連結会計年度比2.6%減)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、原材料価格や物流コスト高騰の影響を受けた一方で、新規SPD受託施設の稼働が順調に推移いたしました。また、手術症例数が増加したこと等により診療材料需要が回復いたしました。

以上の結果、売上高は386,335百万円(前連結会計年度比7.1%増)、セグメント利益(営業利益)は6,666百万円(前連結会計年度比7.4%増)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、給食事業において新規M&A等により増収となりましたが、食材価格高騰の影響を大きく受けました。また、介護事業においては高い入居率を維持しましたが、光熱費高騰の影響を大きく受けました。

以上の結果、売上高は33,581百万円(前連結会計年度比33.0%増)、セグメント利益(営業利益)は2,055百万円(前連結会計年度比14.6%減)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響を受けましたが、新規出店及び小規模のM&Aや経営効率化等により業績は堅調に推移いたしました。

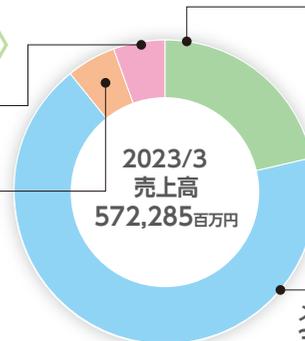
以上の結果、売上高は30,499百万円(前連結会計年度比5.4%増)、セグメント利益(営業利益)は3,256百万円(前連結会計年度比1.8%増)となりました。

セグメント別売上高構成比

調剤薬局事業
30,499百万円 / 5.3%

ライフケア事業
33,581百万円
5.9%

トータルパック
プロデュース事業
121,868百万円
21.3%



メディカルサプライ事業
386,335百万円 / 67.5%

※ 前連結会計年度より、管理区分の変更に伴い、従来「その他」に含まれていた事業を「トータルパックプロデュース事業」等に含める等、報告セグメントの区分変更を行っております。

株式の状況

発行可能株式総数	128,000千株
発行済株式総数	101,669千株
株主数	4,160名

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



個人・その他	3,800名	91.35%
外国法人等	262名	6.30%
その他法人	43名	1.03%
金融商品取引業者	29名	0.70%
金融機関	25名	0.60%
自己名義株	1名	0.02%

株式分布状況(株式数別)



外国法人等	32,579千株	32.04%
金融機関	31,448千株	30.93%
個人・その他	16,671千株	16.40%
その他法人	12,340千株	12.14%
自己名義株	7,319千株	7.20%
金融商品取引業者	1,309千株	1.29%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

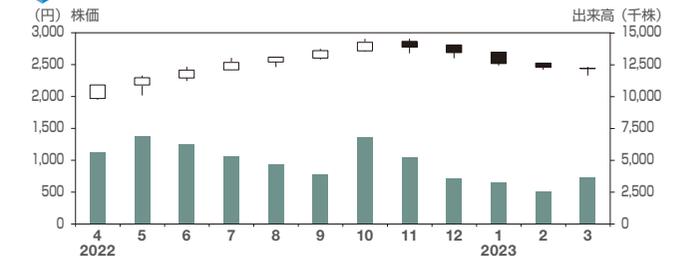
大株主の状況

[保有株式数] [持株比率]

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,579千株	16.51%
株式会社ココロ	7,977千株	8.46%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,659千株	7.06%
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,957千株	4.19%
全国共済農業協同組合連合会	3,112千株	3.30%
春日興産合同会社	2,800千株	2.97%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,518千株	2.67%
古川 國久	2,473千株	2.62%
古川 幸一郎	2,460千株	2.61%
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572	1,698千株	1.80%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。※ 当社は、自己株式7,319,175株を保有しておりますが、上記の上位10名からは除外しております。

株価・出来高の推移



会社情報

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
設立 1992年8月
代表取締役会長 古川 國久
代表取締役社長 大橋 太
資本金 155億5,301万円
決算月 3月
従業員数 連結 8,046名(正社員) 17,051名(従業員)
本社所在地 〒565-0853
大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL: 06-6369-0130
FAX: 06-6369-3191

役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役会長	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役副会長	小川 宏隆
代表取締役社長	大橋 太
専務取締役	横山 裕司
常務取締役	海野 眞史
取締役	島田 正司
取締役	安田 芳郎
取締役(社外)	佐野 精一郎
取締役(社外)	今別府 敏雄
取締役(社外)	伊藤 文代
取締役(社外)	西尾 信也
常勤監査役	戸田 成重
監査役(社外)	大山 博康
監査役(社外)	佐野 信行
監査役(社外)	南 浩一

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>

SHIP HEALTHCARE



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年6月中
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告によりおこなう
公告掲載URL <https://www.shiphd.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

英文ホームページはこちら
English website



<https://www.shiphd.co.jp/en/>

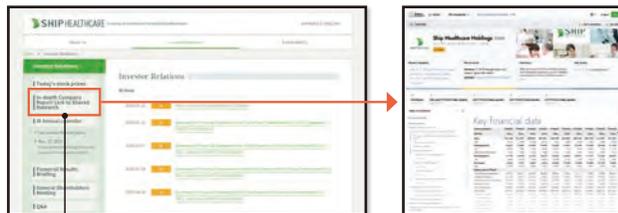
For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.

Please check

<https://sharedresearch.jp/en/3360>

to view the report.



In-depth Company Report Link to Shared Research

アンケートの お願い

当社では、株主の皆様からいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ① 1ヶ月以内
- ② 2～5ヶ月前
- ③ 6ヶ月以上前
- ④ 1年以上前
- ⑤ 株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ① 中長期的に保有する
- ② 短期で考えている
- ③ 買い増しする
- ④ 投資収益に応じて売却する
- ⑤ 未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ① 規模の拡大
- ② ビジネスモデルの強化
- ③ 経営の効率化
- ④ 収益性
- ⑤ 安定性
- ⑥ 株主政策の強化
- ⑦ その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ① 株主通信
- ② ホームページ
- ③ 株主総会
- ④ 個人投資家向け説明会の開催
- ⑤ その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ① マネジメントメッセージ
- ② トピックス
- ③ 特集
- ④ 業績の概要
- ⑤ 株式関連情報及び会社情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ① 大変満足している
- ② ある程度満足している
- ③ 普通
- ④ あまり満足していない
- ⑤ 不満である

Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。